

令和8年度 見附中学校 グランドデザイン

教育目標 自律 創造 敬愛 健康

～「未来を共に創る」～ 仲間と共に 保護者と共に 地域と共に 教師と共に

確かな学力の伸長

◎仲間と共に、深く学び、未来につなぐ

こんな活動をします

- 「主体的・対話的な学び」を大切にした問題解決的な学習を取り入れた授業づくり
 - ・「見中スタンダード」を基盤に、対話を手段とした授業構成を意識する
 - ・ICTを活用して意見の可視化や共有化、焦点化を図る授業を行う
可視化→生徒の内面をアウトプット
共有化→生徒の学びの過程で生じた考え方のずれ等を整理
焦点化→授業における「ねらい」を達成するための「手がかり」から学びどころを意識化
- 「深く学ぶ姿」を見取り、確かに価値づける支援の充実
 - ・生徒が主体的に向き合う価値のある課題（ゴールイメージ）を選定し、単元計画（授業の構想）を練る
 - ・単元や学期の節目で、知識をイメージマップでまとめて比較させたり、評価規準（ルーブリック）を示し、到達度を振り返らせたりする授業を行う
 - ・教職員が授業実践を共有し、授業改善と指導力向上を図る。

自己肯定感と豊かな人間性・社会性の育成

◎自他共に尊重し、高めあい、未来を創る

こんな活動をします

- 学級における話し合い活動「クラス会議」の導入
 - ・学校生活の課題やより良い学級づくりについて、生徒が対話を通して解決策や納得解を見出す
 - ・教師はファシリテーターとして支援し、生徒の自治能力を育てる
- 認め合いによる生徒の自己肯定感を育成する支援（フィードバック）の充実
 - ・自己を見つめる活動を通して自分の良さを認めるとともに、仲間の良さに気づき、他者との違いを受け入れ、共に成長していく意識を育てる
 - ・「自分を知る」「仲間を知る」「自他の輝かせ方・伸ばし方」をねらった学年・学級独自の取組の推進
 - ・「ジブサガ」や「全校道徳」の実施
 - ・友和会活動や学校行事を通じた所属感を高める
 - ・学年ニックネームや学級スローガンの作成
- 地域と共に課題解決に取り組む相互連携の充実
 - ・地域行事、ボランティア活動等への主体的参加
 - ・学校運営協議会との連携強化

自己マネジメント能力の育成

◎自分に向き合い、自らを整え、未来へ進む

こんな活動をします

- 自分自身の生活を見つめ直し、よりよい生活習慣を築く。
 - ・睡眠時間、学習時間、メディアの利用時間を振り返り、生活を客観的に捉える。
 - ・マネジメントシートを活用し、1学期末（夏休み前）・2学期に生活改善週間の取組を行う。
生活改善週間期間、結果を朝学活時に入力する。取組後、成果目標の達成状況について、振り返りを行う。
 - ・自分の立てた目標に対して、PDCAサイクルで成果目標の達成状況を把握し、自己調整力を高める。
- 自己マネジメント力の育成に向けた家庭、地域、外部機関等との連携
 - ・家庭への情報提供と啓発 ・マネジメントシートの持ち帰りによる家庭での目標把握 ・便りの発行
 - ・眠育講演会 ・小児生活習慣病予防事業 ・SCや心の教室相談員との連携による安心して生活できる環境づくり

●地域と共に歩む

- 地域の人材や企業と連携したキャリア教育を通して、生徒が地域社会の一員として主体的に関わる機会を広げていく。
- 地域コミュニティとの連携をさらに深め、生徒が地域の行事やボランティア活動などに主体的に参画できるよう支援する。
- 地域学校協働本部や学校運営協議会の委員と生徒が熟議・協働する場面を設定し、連携した活動を積極的に行う。
- 地域の人材や企業と連携したキャリア教育・アントレプレナーシップ教育を推進する。
- Web ページ、見中メール、各種たよりなどで学校や生徒の様子などを発信する。

●特色ある学校

- 見中文化（見中プライド）を継承・発展させる。
 - ・自分たちの学校生活を自分たちで創る気運 ・ノーチャイム
 - ・明るい挨拶 ・見中スタンダードの徹底（話を聞く姿勢）
- 未来を豊かに生きる資質・能力を身に付けられるよう支援する。
 - ・教育活動をSDGsの視点から見直し、様々な課題と持続可能性の考え方に触れ、社会の一員としてよりよい未来を創る意識を高めていく。
 - ・各活動において「生徒が主体・主役」となり、目標と見通しをもって活動に取り組むことを重視する。
 - ・地域での活動を通して肯定的なフィードバックを得て、自己肯定感と豊かな人間性・社会性を高めることにつなげていく。

地域とともに歩む、特色ある学校づくり